

授業科目名	公衆衛生看護学（産業保健）(2300256)		
時間割名	公衆衛生看護学（産業保健）(53208)		
時間割担当	新谷奈苗		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	金・3		

授業の目標・概要

産業保健の理念、産業保健の歴史、労働衛生関連の法規、安全衛生管理体制を学び、労働が健康に与える影響を捉え、産業看護職が事業者や労働者の協力のもとで産業保健の目的を達成できるよう、基本的な知識と主要な産業保健活動について概説する。また労働に関連する健康影響について学習し、労働者の健康を支援する産業看護職の役割と職務について理解する。

学習の到達目標

- 産業保健の理念、目的、および産業保健に関する基本的な知識を説明できる。
- 労働が健康に与える影響について学習し、労働と健康障害の関連を説明できる。
- 成人期の人々を看護する際、対象に労働の視点を持つことができる。
- 安全衛生委員会、職場巡視、労働衛生教育等の産業保健活動を学び、保健活動への活かし方がわかる。
- チームのなかでの産業看護職の役割を学び、労働者に必要な健康支援について考えることができる。

授業方法・形式

講義(一部演習)

授業計画

- 第1回 産業保健の理念、目的・産業保健活動の歴史
- 第2回 産業保健を取り巻く状況
- 第3回 労働衛生関連法規と安全衛生管理体制
- 第4回 労働衛生管理のしくみ（作業管理・作業環境管理・健康管理）
- 第5回 労働衛生管理のしくみ（一般健康診断・特殊健康診断）
- 第6回 職業性疾病の原因と予防・看護（熱中症・騒音性難聴・有機溶剤中毒）
- 第7回 職業性疾病の原因と予防・看護（塵肺・放射線障害・がん）
- 第8回 職業性疾病の原因と予防・看護（VDT作業従事者：腰痛・頸肩腕症候群・眼科的健診）
- 第9回 職場巡視・作業環境測定（演習）
- 第10回 職場のメンタルヘルス（休職・復職支援・組織風土づくり）
- 第11回 女性労働者の支援
- 第12回 疾病を抱えながら働く人を支援
- 第13回 働く人の事例を用い労働が健康に与える影響について考える
- 第14回 働く人の事例を用い労働が健康に与える影響について考える
- 第15回 発表・まとめ

成績評価の基準

定期試験 80% 演習課題 20%

準備学習・復習及び授業時間外の課題

授業の前には、次回対応する箇所のテキストを読んでくること

履修上のアドバイス及び留意点

普段から働く人に関心を持つこと

教材・教科書

教科書：産業保健・産業看護論（地域看護学習Guide）、日本看護協会出版会

参考書

副読本：新版 すぐに役立つ産業看護アセスメントツール，法研；新版（2014/6/10）